



学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター

病院長、心臓・血管・腎臓内科 教授 安 隆則

1. 病院紹介

平成17年に珪肺労災病院の移譲により獨協医科大学日光医療センターとして開院いたしました。日本で3番目に広大な市町村面積である栃木県日光市は、鬼怒川温泉や日光東照宮、いろは坂や華厳ノ滝など多くの観光名所を有しており、修学旅行やインバウンド旅行客が多い地域であります。当センターは鬼怒川エリアに立地し、宇都宮からは車で約50分ほどです。正面には東武鉄道が走り、SL大樹が煙を上げて走る姿は見物です。

199床の当センターは、循環器内科、心臓・血管・腎臓内科、心臓・血管外科の3診療科により「循環器病センター」を設立し、各科の協力体制を強化しております。建物の老朽化により日光市中心部に移設が決定し、本年7月に着工し2023年に完成予定です。



病院外観



完成予想図

2. 心臓リハビリテーションと腎臓リハビリテーション

心臓リハビリテーションチームは理学療法士5名と看護師1名が在籍し、腎臓リハビリテーション業務も担っております。日本心臓リハビリテーション学会認定優良施設として研修生を受け入れ、年間のCPX件数は約240件ほどです。メディックスクラブ日光支部の活動も行い、長期的なリハビリテーションの継続をサポートしております。腎臓リハビリテーションは2014年に本学会前理事長の上月正博先生の御指導をいただき、本格始動致しました。現在では腎臓リハビリテーション指導士が3名在籍し、患者様のADL改善と在宅復帰に努めております。地方の基幹病院として近隣病院様と連携して、脳卒中や骨折などの重複障害や心不全の急性増悪症例を受け入れております。



透析診療チーム

3. 透析センターでのリハビリテーション

現在25床の透析センターにおいて、透析前や透析中の運動療法を積極的に実施しております。心臓リハビリテーション室と隣接しており、それぞれのスタッフが自由に入りし、風通しの良い環境が特徴です。

学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地

病 院 <https://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>

診療チーム <https://www.dokkyomed-nmc-cv.jp/index.html>



透析中の運動療法と物理療法

4. 糖尿病性腎症患者の生活指導

糖尿病で外来通院中の患者様の検査値や身体活動量をデータベース化し、指導に用いております。本データベースにより、歩行運動以外にも座位時間を抑制する事が重要であることを明らかにし、対象者に合った運動や生活指導を多職種で指導していきます。塩分摂取の「見える化」には尿中のナトリウム・カリウム比測定器を貸し出し、食行動の変化を促しております。